

木更津工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	国語ⅡA	
科目基礎情報							
科目番号	0036			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	機械工学科			対象学年	2		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	井口時男ほか『現代文B』（教育出版、2018年）、『ことばを広げる新漢字ノート』（浜島書店）						
担当教員	加藤 達彦						
到達目標							
1.話し手の言葉を聴き取り理解することができる（聴く力）。 2.授業で扱う様々な文章を読解することができる（読む力）。 3.自分の思いや考えを表現することができる（書く力）。 4.常用漢字をほぼ読み書きできる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		話し手（書き手）の言葉を正確に聴き取り（読み取り）、かつ真意を推し量り、対応することができる。		話し手（書き手）の言葉を正確に聴き取り（読み取り）理解することができる。		話し手（書き手）の言葉を正確に聴き取り（読み取り）理解することができない。	
評価項目2		常用漢字を含め、授業で扱う様々な文章を正確に読解し、かつ鑑賞することができる。		常用漢字を含め、授業で扱う様々な文章を正確に読解することができる。		常用漢字を含め、授業で扱う様々な文章を正確に読解することができない。	
評価項目3		常用漢字を使い、自分の思いや考えを的確に、かつ独創的に表現することができる。		常用漢字を使い、自分の思いや考えを的確に表現することができる。		常用漢字を使い、自分の思いや考えを的確に表現することができない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		国語Ⅱでは、特に「読む」「書く」等の基礎学力の向上を重視する。また古典的な文章を通じ、広く日本の文化や伝統に触れ、基礎的な知識を身につけると同時に豊かな人間性を養うべく、幅広い視点から教養を深めることを目標とする。					
授業の進め方・方法		①授業は基本的に教科書に沿って講義形式（スライド説明）で行う。 ②講義は集中して聴き、ノートを取るのは当然である。それに加えて、自分の意見やアイディアを記録する癖をつけること。 ③漢字テキストについては、自学自習を進めておくこと。 ④指示された課題は、目的を理解し、丁寧に取り組むこと。					
注意点		自ら疑問点を出し、積極的に質問して授業の中で解決していくという態度が大切である。そのためにも予習として前もって作品を読み、わからない語句等を辞書で調べてくることが望ましい。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		テキストの使い方、漢字学習の取り組み方と注意点、提出物に関する諸注意を理解する。		
		2週	①随想（１）姜尚中等を読解する。		文章の構成や展開を的確に捉える。		
		3週	②随想（１）姜尚中等を読解する。		筆者の意見を踏まえ自分の意見を述べる。		
		4週	①評論（１）清岡卓行等を読解する。		評論の論理展開を正確に読み取る。		
		5週	②評論（１）清岡卓行等を読解する。		主張の背景にある思想を学ぶ。		
		6週	③評論（１）清岡卓行等を読解する。		筆者の着眼・発想法を学び、自らの思考に応用する。		
		7週	教科書の内容および常用漢字・語彙の復習		教科書および漢字のテキストをもとにこれまでの学習内容を復習する。		
		8週	①小説（１）中島敦を読解する。		すぐれた朗読を聴き、小説の雰囲気と独特な文体のリズムを味わう。		
	2ndQ	9週	②小説（１）中島敦を読解する。		小説に駆使された作家独自の表現技巧と方法を学ぶ。		
		10週	③小説（１）中島敦を読解する。		時代背景や思想を読み取る。		
		11週	④小説（１）中島敦を読解する。		主人公の心境の変化を読み取る。		
		12週	⑤小説（１）中島敦を読解する。		小説のテーマについて、学習内容わ振り返り、短い言葉でまとめる。		
		13週	①詩歌（１）萩原朔太郎等を読解する。		詩人特有の表現技巧を知る。		
		14週	②詩歌（１）萩原朔太郎等を読解する。		時代背景や思想を読み取り、作品を鑑賞する。		
		15週	教科書の内容および常用漢字・語彙の復習		教科書および漢字のテキストをもとにこれまでの学習内容を復習し、前期期末試験に備える。		
		16週	前期期末試験 試験の解答と解説		今までの授業内容をふまえて、設問に対して正しく解答する。試験問題を見直し、正しい答えの導き方を確認する。		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	35	0	0	15	0	50	100
基礎的能力	35	0	0	15	0	50	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0